

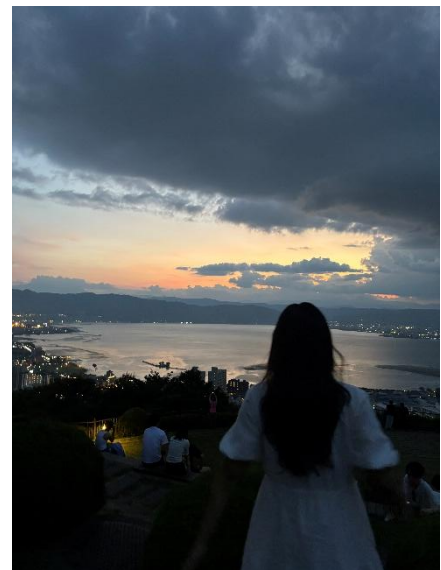


4 月からお茶の水女子大学に来て、もう 10 か月がたちました。ドイツの友だちにとっては、私がとても長い間日本にいたように感じたのですが、私自身はあっという間だったと感じています。この 10 か月間で、たくさんの大切な忘れられない思い出を作ることができました。

お茶の水女子大学では、日本語の力を少しずつ伸ばすことができました。いろいろな文化ワークショップがあったので、日本の文化についてたくさん学ぶことができました。また、後期からは毎週ドイツカフェに参加しました。そこでは、ドイツ文化に興味を持っている学生のみなさんと話したり、意見を交換したりすることができ、とても嬉しかったです。

お茶の水女子大学での生活の中で、他の交換留学生だけでなく、日本人の学生とも多くの友だちになることができました。みなさんのおかげで、毎日が特別な日でした。一緒に勉強したり、いろいろな場所に行ったりして、本当にたくさんの素敵な思い出を作ることができました。

お休みには、日本のいろいろな場所や町を訪れました。今まで写真でしか見たことがなかった場所を、実際に見ることができました。例えば、いろい



ろな場所から富士山を見たり、仙台の近くにある田代島という猫島を訪れたり、「君の名は。」に出てくる諏訪湖を自分の目で見たりすることができました。

最後に、留学中に支えてくださったすべての方々に感謝したいと思います。特に、いつも親切に相談にのってくださった宮崎先生に心から感謝しています。また、「ホームルーム」の授業を通して学生生活をサポートしてくださった市原先生と櫻井先生にも感謝しています。そして、いつも助けてくださった国際交流課の皆さま、本当にありがとうございました。さらに、チューターの西川朝子さん、そしていつもそばで支えてくれた友だちのみなさんにも、心から感謝しています。